



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2019.11.3
 自 宅 872-9324 高知市福井町1475-3 No. 623

♥ 11月4日(月)
 (10時~15時10分)
 ♥ 高知市中央公園
 (小雨決行)

- ・ステージでは ダンスやコンサート。
 - ・マルシェでは、おいしい物色々。
 - ・モッズコートもあつち。
- ご家族でぜひ
 ご参加ください

守ろうつ平和・なくそう原発
 ステージ・マルシェ・県民集会

「消費税増税で店やっ払いけない」

県内事業所・卸・小売中心に大幅な減少

屋崎県政が柱として取り組んできた「産業振興計画」地域の資源を生かし、地域の人々ともいっしょに商売を開発し、地産地消へと、県民のみならずと取り組んできました。

一方、国政では、非正規雇用の拡大、社会保険等の負担増の押しつけ、はたは消費税増税、年金の切り下げ等、国民の購買力を失

わせざる改悪が次々と行われてきました。

そんな中、高知県の経済センサスの統計調査をみると、倒産数ではわからない産業などの実態を示す「事業所数」が大きく減少している状況なのです。

2009年の事業所数は、4万4千3百余、それが、7年後の2016年には、3万6千2百余となり、約8千百余の

事業所が減少となっていきます。とりわけ卸・小売業の減少が顕著です。

「ぎりぎりでも、ここに店があることが大事だと思っ

てがんばって来たけど、10%で限界」の者も出ています。

「5%に減そう」の運動を応援しましょう。



11月24日は、県知事選挙の投開票日。
 「みんなと野党の共同」を土台に、だれひとり取り残さない県政へと、県庁前でアピールをします。11月7日告示の選挙ですから、みんなとしっかり語りあって、いきましょう。

てくてく歩記 (620)

わたしの

キンモクセイの香りが秋をかんじさせます。11月は、選挙の月。秋の深まりを楽しみながら、「ここでいっしょに生きよう、唯一人取り残さない県政へ、おたのみの力をかかせよう」と訴えるおん本けんじさんや声がかぶる県庁前交差点に響くと、「話をまいて染がした」という女性から、いっしょにしみ子話と政策をもつのがおん本けんじさんだ。あらためて感じたことばかり。

このニュースは、11月いっしょにお休みとなります。気温差の中、体調管理をしっかりと。あまじい。